

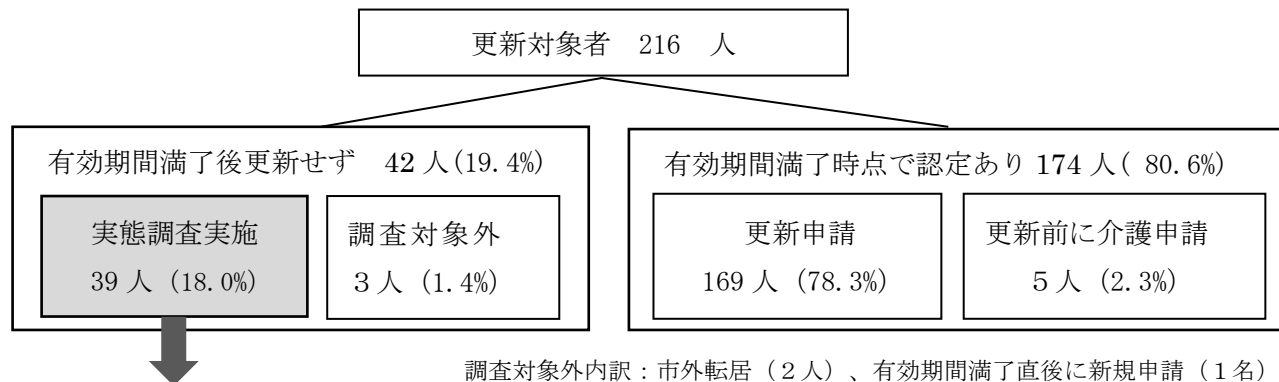
令和5年度介護サービス未利用者の定期的な実態把握結果中間報告

1 調査期間

令和5年4月から令和5年9月まで

2 調査対象者及び調査時期

前回の介護度が要支援1・2の介護サービス未利用者。令和5年5月末から令和5年10月末に要介護認定の有効期間満了を迎える更新時に、更新申請を行わなかった者に対し在宅介護・地域包括支援センター職員が訪問または電話にて実態把握を行った。



3 調査項目及び調査結果

	質問項目	はい	いいえ
1	1. この1年間の体調変化がありましたか	2人 (5.1%)	37人 (94.9%)
2	1で「はい」と答えられた方→それはどのようなことですか ・腹部大動脈瘤が大きくなり手術が必要。 ・眼の血管炎が改善し視力が向上。一人で外出できるようになった。		
3	身の回りのことをご自身でできますか	39人 (100%)	0
4	世帯構成	ひとり 12人 (39.8%) 高齢者のみ 18人 (46.1%) その他 9人 (23.1%)	
5	生活のお手伝いをしてくれる人はいますか	35人 (89.7%)	4人 (10.3%)
6	15分くらい続けて歩いていますか	36人 (92.3%)	3人 (7.7%)
7	週に1回以上は外出していますか	35人 (89.7%)	4人 (10.3%)
8	普段就労や介護予防事業等に参加している場合該当するものに○をつけてください 8 内訳（複数回答あり）：就労2人、コミュニティセンターでの活動2人、テンミリオンハウス4人、不老体操2人、高齢者総合センターの各種講座1人、武蔵野総合体育館の各種講座1人、民間のスポーツクラブ1人、その他6人（内訳：カルチャーセンター1人、老人クラブ1人、家族介護支援事業1人、プレイスの椅子体操1人、NPOボランティア1人、障害者福祉センターの体操1人）	該当する 14人（実人数、35.9%）	
9	日常生活の中で、気になるような物忘れがありますか	0	39人 (100%)
10	体調が悪い時や災害時などに、手助けしてくれる家族や親戚、知人等がいますか (11は緊急連絡先記入)	37人 (94.9%)	2人 (5.1%)

12	定期的に通院をしていますか (13は通院先記入)	35人 (89.7%)	4人 (10.3%)
14	定期的に内服薬を処方されていますか	35人 (89.7%)	4人 (10.3%)

#### 4 次回の訪問時期

区分	訪問時期	人数 (割合)	訪問時期の判断の理由
A	1か月後	1人 (2.6%)	・心疾患で服薬管理が不十分だが支援者なし
B	3か月後	1人 (2.6%)	・精神疾患あり、全く外出していない
C	6か月後	2人 (5.1%)	・受診以外に外出の機会がない ・高齢・猛暑のため外出できていない
D	1年後	4人 (10.2%)	・日常的に生活の支援をする人がいない ・定期通院なし ・病状の経過観察が必要 2人
E	実態把握終了	31人 (79.5%)	

#### 5 訪問時の対応

- ・訪問時、39人の調査対象者に「在宅介護・地域包括支援センターの連絡先」を周知した。
- ・サービスの利用要件に該当する方17人には「レスキューヘルパー（高齢者緊急訪問介護）事業」、16人には「高齢者安心コール事業」の案内を行った。

#### 6 実態調査後新規申請状況

- ・実態調査を実施した39人のうち、調査実施後要介護認定申請に至った人は1人（2.6%）だった。

申請理由および認定結果内訳：段差から飛び降りた事が原因で大腿骨頸部骨折。人工骨頭置換術施行。新規申請の結果「要介護1」と認定。

#### 7 令和5年度上半期の傾向と課題

令和5年度上半期実態把握者数は39人で、令和4年度1年間の合計38人を超えている。これは「新型コロナウイルス感染症に係る要介護認定の臨時的な取扱いについて（その4）」（令和2年4月7日厚生労働省老健局老人保健事務連絡）に基づいた有効期間延長の対応が令和4年度で終了したことが影響していると考えられる。

実態調査対象者について、週1回以上外出している人の割合は、令和4年度の94.7%から89.7%へやや減少。就労や介護予防事業等に参加している人は26.3%から35.9%に増加しており、新型コロナウイルス感染拡大前の令和元年度50.9%には及ばないものの、活動を開始・再開できるようになっている事が分かった。

実態把握の継続が必要と判断した理由として、「支援者がいない」「外出ができていない」「定期通院なし」「病状の経過観察が必要」が挙げられた。現在介護サービス利用は必要ないが心配な人に対し、定期的に実態把握を行う事で重度化する前に要介護リスクを早期発見し、適切に介入が行える体制ができています。引き続きサービス未利用者実態把握を行う事が必要である。